

科目名	国際経営論特殊研究	担当者	シナト 階戸 テルオ 照雄	期間	通年	単位数	4
-----	-----------	-----	------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>1. 今日のグローバル企業（米国，日本，欧州，アジアなど）は益々その活躍の場を世界に広めている。グローバル企業の現代的な課題と問題点を認識し，理解することを目的とする。</p> <p>2. 現代におけるグローバル企業は，従来にも増して，経営戦略における柔軟な舵取りが必要となっている。最近までの「エクセレント・カンパニー」や「優良企業」が国際的な競争優位を持続できず，グローバル競争に敗退する事例は枚挙に暇がない状況である。かかる中で，日本企業の真なるグローバル戦略とは何か，を企業戦略論の大きな流れを概観し，最新の経営理論まで深く理解することを目的とする。</p>		
到達目標	<p>【一般目標（GIO）】 問題発見・解決能力：事象を注意深く観察し，解決策を提案することができる。 論理的・批判的思考力：得られる情報を基に，論理的な思考，批判的な思考ができる。 豊かな知識・教養に基づく高い倫理観：豊かな知識を基に，倫理観を高めることができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 企業を巡る国際経営論はもとより，諸理論や経営課題について把握し，その中で個別企業がとっている行動の背景を理解・概観できるようになることである。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 1 つのレポート作成にあたり基本教材および参考文献の読み込みに 35 時間以上 Manaba-Folio への提出・再提出のやりとりに 30 時間以上を目安とする。</p>		
学修方法	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・manaba folio を利用して，教員と院生との間での双方向を重視した指導を実施する。</p> <p>【学修方略（LS）】 1. 「資源アプローチ」のみならず，ポーター教授の「ポジショニングアプローチ」他，これまでの経営戦略論の流れを，まず理解する。国際戦略についても，現代の経営戦略論を理解するためには重要であるため，十分の理解ができるようにする。 2. 基本書，参考図書だけでなく，できるだけ，原語で書かれた経営学に関する教科書の直接理解を図るようにする。</p>		
スケジュール	<p>1. 何度かのレポートを交換することで，論文を書く際に必要となる基礎的な事項を修得することができる。そのためには，レポートを極力早い時期より提出することが望まれる。</p> <p>2. 標準的なスケジュールとして，第 1 回目のレポートの草稿については，遅くとも最終提出期限 1 か月前を目安にすること。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	教材内容を十分理解・修得し，レポートが作成されているかを基準とする。
	平常評価	20%	草稿段階から最終稿までのプロセスを含む取組みを評価基準とする。
履修者への要望	<p>基本教材は英文オリジナルの部分訳であるため，原著（Gaining and Sustaining Competitive Advantage, 2nd Edition）との併読が望ましい。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： ジェイ・B・バーニー 教材名： 『企業戦略論』上・中・下 ダイヤモンド社 各 2,400 円+税 上 ISBN:978-4-47-837452-8/中 ISBN:978-4-47-837453-5/下 ISBN:978-4-47-837454-2
	本書は、「資源アプローチ」の大御所バーニー教授による大著の邦訳である。「資源アプローチ」のみならず、ポーター教授の「ポジショニングアプローチ」他、これまでの経営戦略論の流れが分かりやすく示されている。国際戦略についても、かなりのスペースが割かれており、現代の経営戦略論を理解するためには必読の書物である。
参考図書	C. バートレット, S. ゴシヤール『MBAのグローバル経営』（日本能率協会マネジメントセンター, 1998年）ISBN:978-4-82-071315-9 2,600 円+税 ビッド・J・コリス他『資源ベースの経営戦略論』（東洋経済新報社, 2004年）ISBN:978-4-49-252151-9 3,800 円+税
履修上のポイント	1. 基本教材は本格的な戦略論の大系であり、早期に通読するとともに、各章末に参照された論文を読むことにより、最新の経営理論を理解する。 2. 参考図書の『MBAのグローバル経営』は、国際経営に関する古典ともいえる重要な研究である。基本図書の国際経営に関する研究と合わせ、深い理解が望まれる。 3. 同じく、参考図書の『資源ベースの経営戦略論』は海外MBAコースの標準テキストであり、原文との併読が有用である。
レポート課題 1	国際戦略における持続的競争優位性について、詳述せよ。
レポート課題 2	トランスナショナル戦略について、詳述せよ。 留意点： 1社以上のグローバル企業（日本企業以外でも可）を選び、説明のこと。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 浅川和彦 教材名： 『グローバル経営入門』（日本経済新聞出版社, 2003年）（9刷, 2016年）ISBN:978-4-53-213260-6 2,800 円+税
	本書は、グローバル経営の観点から、さまざまな経営上の課題を取り上げ、経営戦略上の包括的な分析を加えた、従来より定評のある教科書である。本書の内容の理解を下に、グローバル企業の国際経営の課題の熟知を図る。基本書、参考図書だけではなく、できるだけ、原語で書かれた経営学に関する教科書の直接理解を図る。
参考図書	チャン・キム, レネ・モボルニュ『ブルー・オーシャン戦略』（ダイヤモンド社, 2013年）ISBN:978-4-47-802467-6 1,900 円+税 スザンヌ・バーガー他『グローバル企業の成功戦略』（草思社, 2006年）ISBN:978-4-79-421525-3 2,310 円+税
履修上のポイント	1. 今日のグローバル企業（米国, 日本, 欧州, アジアなど）は益々その活躍の場を世界に広めている。グローバル企業の現代的な課題と問題点を認識する。 2. 経営理論の発展の過程で、参考図書にあげた『ブルー・オーシャン戦略』が、現在、世界的な注目を集めている。この最新の理論の理解と実践面での応用の可能性につき深く検討する。
レポート課題 1	日本企業のグローバル戦略の問題点につき、詳述せよ。
レポート課題 2	『ブルー・オーシャン戦略』の新規性につき、論評せよ。 留意点： 従来よりの経営戦略との違いを明確にすること。